

高度な医療で愛し愛される病院

理念の実行方法

- 地域住民地域医療機関と密着した医療
- 連携組織による24時間救急体制の実施
- 何人も平等に医療を受けられる病院
- 医療人としての自覚と技術向上のための教育
- 最新鋭医療機械導入による高度な医療
- 予防医学の推進に向けた健診業務

上尾中央総合病院
院長 徳永 英吉

緩和ケアボランティアのお知らせ

B館においては13階の緩和ケア病棟で活動する緩和ケアボランティアがいます。緩和ケアボランティアには「ティーサービスボランティア」と「傾聴ボランティア」、「ショーボランティア」の3種類があります。「ティーサービスボランティア」は病棟に設置されているキッチンからお茶を作ってお持ちすることにより患者様との接点を作り会話をするボランティアです。話のきっかけとしてのお茶が心の安らぎを与えます。「傾聴ボランティア」はさらに踏み込んで相手の悩み、苦しみを的確に聞き取り、ストレスの緩和に努めます。「ショーボランティア」は音楽の演奏、手品や紙芝居の発表で患者様に楽しんで頂くためのボランティアです。現在6名のボランティアが活動しており、いずれも専門的な課程を習得してこられた方々がケアにあたります。



*見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

医療法人社団 愛友会

上尾中央総合病院

TEL.048-773-1111(代)

〒362-8588

埼玉県上尾市柏座1丁目10番10号

<http://www.ach.or.jp/>



編集 後記

6月2日に外来がスタートしたB館ですが、まだまだご意見を頂きながら改善を行っている途上の建物となります。皆様の声をお寄せ頂き、よりよい病院にしていきたいと考えておりますのでこれからも宜しくお願い致します。

麻酔科 平田一雄



アウंकフル

上尾中央総合病院 広報誌

～愛し愛される病院を目指して～

VOL.36

平成26年6月発行

B館竣工式行われる

5月24日、B館竣工記念式典が行われました。内覧を終えた来賓の方からは「すべてがきれい」、「最先端に行く病院の姿だ」とお褒めの言葉を頂戴しました。

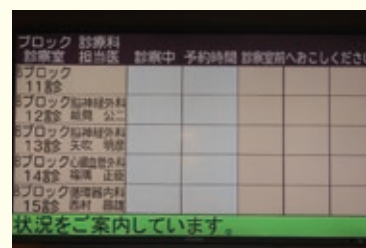
式典では上尾中央総合病院合唱団による「花は咲く」の合唱を披露しました。上尾中央総合病院は今後も愛し愛される病院の理念のもと地域の皆様に貢献できるよう邁進して参ります。



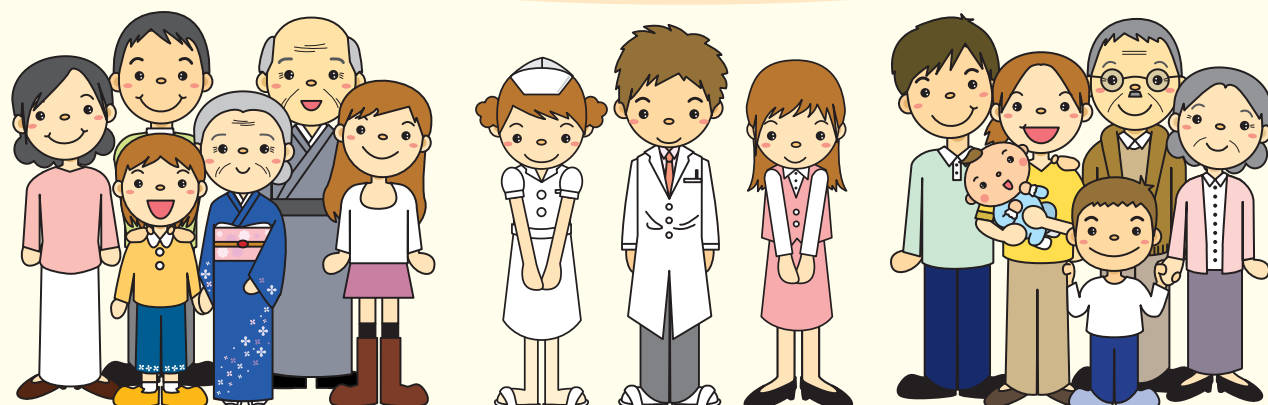
..... サービス向上へ向けて

B館における新たな試みとして、外来コンシェルジュの存在があります。外来コンシェルジュは日々来院される患者様の診療手続きの不明な点や、精算機、再来機といった機械の補助を行い、より高いレベルでのサービスを行います。

コンシェルジュ導入の背景には新しく外来の流れが変わることにあります。自動再来機は受診案内表を発行できるようになり、検査や受診のスケジュールが記載されるようになります。これを受けて検査室に上がるとそこには検査受付機という機械があります。ここで採尿カップや、検査の呼び出し番号が受け取れます。検査結果は医師の下に転送され、外来に呼び出しの表示が出ます。この呼び出し表示システムは外来に待たれる患者様が目に見える形で診察室に入って頂けるご案内になっております。待ち状況などが分かるため診察までのストレス緩和に役立てていきたいと考えております。これらの新しいシステムを有効活用して、より機能的で安心して頂けるよう進めて参ります。



皆様のご来院、心よりお待ちしております。



..... 厨房で新鮮なお食事を

B館では、栄養科の厨房が一新されました。以前までは外部委託の調理品を主に提供させて頂いておりましたが、現在では当院にて調理師が作成した鮮度の高いものを提供させて頂いております。始まって以来短い期間ではありますが「サラダが食べたかったのでとてもよい」「とてもおいしい」との反響も頂いております。



運搬においても大きなカートで安全に、かつ、一度に多くの数のお食事を運搬できるようになりました。当院の栄養科の職員からは「今までと違い、腕によりをかけて作ったお食事を提供させて頂いております。愛情のこもった料理をぜひ召し上がってください」とのコメントもありました。入院患者様のひとつの楽しみとして、喜んでいただけるようなお食事の提供を進めて参ります。



一般食



6月の行事食（紫陽花御膳）

